

令和 7 年度 事業報告書
特定非営利活動法人 第 3 の家族

(1) 特定非営利活動に係る事業：家庭環境の問題により、支援が必要な少年少女への支援事業

【Web 事業】

●Web サービスの利用実績

月間アクティブユーザー約 6,000 人、年間のベクティブユーザー91,933 人。
全体投稿数 29 万件以上。

●AI の活用

投稿内容に応じて情報サイト nigeruno のページを自動推薦し、不適切投稿を防ぐ機能を開発した。利用者が直接 AI を使う仕組みではなく、従来よりもより効果的・安全に使えるためのサポートとして AI を活用した。

●情報サイト nigeruno のコンテンツ拡充

第 3 の家族の過去利用者から経験談を集め、ユーザーの声や様態をもとに情報の整理を行った。より、情報を充実させ、シンプルにわかりやすくまとめた。

●配信の実施

サービス内に配信機能を実装した。月に 3～10 回程度開催。団体のメンバーが発言をし、利用者はコメントで参加ができる。インタラクティブな機能が加わることで、利用者のエンパワメントにつながることが期待される。

【イベント事業】

●裏母の日

母の日に生きづらさを感じる人のためのイベントを実施。焚き火と動画制作。

●夏休み毎日配信

こどもの自殺が増える夏休み・夏休み明けに備えて、毎日配信を実施。悩み相談、勉強会、雑談など。

(2) 特定非営利活動に係る事業：家庭環境問題にまつわる調査事業

【調査事業】

●虐待防止学会での発表

gedokun の投稿データをもとに心理的虐待の分析を行い、シンポジウム「子どもの心理的虐待を明らかにする」を実施した。

(3) その他の事業：家庭環境の問題により、支援が必要な少年少女への支援事業

●居場所部会委員の参加

こども家庭庁居場所部会委員を務め、居場所に関する議論や、オンラインの居場所の意義について発表を行った。

●横浜市立大学の若者研究への参加

横浜市立大学が行う、生きづらさを抱える若者研究に参加し、研究や企画への協力を行なった。

●クラウドファンディングの実施

夏休み・夏休み明けに増えるこどもの自殺を予防するための YouTube 企画のクラウドファンディングを実施し、203 名の方から支援をしていただいた。

●認定 NPO 法人化

2025 年 7 月 11 日より、認定 NPO 法人に。